

## 風しん抗体検査・予防接種

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、これまで国の制度で風しんの予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低いことから、抗体検査・予防接種を受けられることになりました。

対象者	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ男性
接種期限	令和4年3月31日
費用	無料
クーポン券	抗体検査・予防接種を受けるには、町で発行するクーポン券が必要です。 <昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれのかた> クーポン券を送付しました。 <昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれのかた> クーポン券の発送は次年度以降を予定しています。 今年度中に抗体検査・予防接種を希望されるかたは、健康福祉課までお問い合わせください。

問合せ 健康福祉課 健康づくり担当 ☎62-1233

## 蚊を介する感染症の予防対策 ～蚊を増やさない・蚊に刺されない～



これから蚊が発生する季節を迎えます。蚊の吸血によって、デング熱やジカウイルス感染症などさまざまな感染症にかかるおそれがあります。

蚊が媒介する感染症にかからないためには、町民一人ひとりが、蚊を増やさない、蚊に刺されない対策をすることが重要です。

### ○蚊を増やさないようにしましょう。

・蚊は、植木鉢の受け皿やプラスチック容器などに溜まった雨水など、小さな水たまりで発生するので、日ごろから住まいの周囲の水たまりを無くすように心がけましょう。

### ○蚊に刺されないようにしましょう。

・屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意しましょう。  
・ジカウイルス感染症は胎児の小頭症との関連が指摘されていますので、特に流行地域へ渡航される妊婦のかたは、蚊に刺されないように徹底してください。

※蚊の活動はおおむね10月下旬までです。

問合せ 健康福祉課 健康づくり担当 ☎62-1233

## 急に暑くなる日はご用心 ～熱中症予防～

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。

特に梅雨の合間の突然気温が上がった日は、体が暑さに慣れていないため注意が必要です。

湿度が高いと体からの汗の蒸発が妨げられ、体温が上昇しやすくなります。扇風機やエアコンを適切に使い、暑さを避けましょう。スポーツなど行事に参加するときは、気温や体調を考慮して熱中症を防ぎましょう。

### 熱中症予防の5つのポイント

- ①上手にエアコンを使う
- ②暑くなる日は要注意
- ③水分をこまめにとる
- ④おかしいと思ったら病院へ
- ⑤周りの人にも気配りを

問合せ 健康福祉課 健康づくり担当 ☎62-1233